

英語コミュニケーションⅢ学習指導案

日 時 令和6年10月23日(水)
 第2校時 9:55～10:45
 対 象 3年2組（38名）
 学校名 北海道札幌啓成高等学校
 授業者 教諭 北橋 美由紀

1 単元名

教科書 | New Rays English Communication III（いっずな書店）
 Chapter 8 | What You Eat May Affect Your Environment

2 単元の目標

肉の消費によって環境にどのような影響を与えるかという研究結果について、聞いたり読んだりしたことを活用して、食と環境の関係について多角的な視点で考え、自分の考えや気持ちを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取るために必要となる語彙や表現を理解している。 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 社会的な話題（環境）についての情報や考えを話して伝える技能を身に付けている。 	<p>聞き手に自分の考えや気持ちをよく理解してもらうために、社会的な話題（環境）について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様なデータや研究結果を示しながら、論理的に話して伝える。</p>	<p>聞き手に自分の考えや気持ちをよく理解してもらうために、社会的な話題（環境）について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様なデータや研究結果を示しながら、論理的に話して伝えようとしている。</p>

4 指導に当たって

(1) 教材観

食生活ならびに農業や養殖などの食料生産方法や土地利用のあり方が地球環境、特に温室効果ガスの排出量に与える影響について、具体例やデータと共に説明され、我々の行動や考え方を変えることで環境への影響を軽減することができるという結論で締めくくられる構成である。環境のために「肉や乳製品を食べることを避ける」という導入は、生徒の興味を引き出してくれるだろう。

(2) 生徒観

対象クラスの生徒は、文系大学を志望している、英語学習には前向きであり、グループワークやペアワークで助け合いながら学習し、言語活動にも真剣に取り組んでいる姿が見られるが、基礎的な英語力が定着していると言いがたい生徒が大勢いるという印象である。学習への受動的な態度が課題である。学習内容に関して、生徒の興味関心を引き出す導入や課題設定が非常に重要であると感じている。

(3) 指導観

「肉や乳製品を食べることを避ける」という提起から、生徒自身が食と環境について考えるきっかけとなるようにしたい。そのため、本文の基本的な知識に加え、多様な意見を聞いたり、具体例を調べたりして、多角的に自身の考えを形成し、論理的に伝える“one-minute presentation”という話す活動をゴールとした。使用するハンドアウトについては、共通テストで出題されるような、概要をまとめたり、スピーチの草案を作ったりする仕様にしていきたい。

5 単元の指導と評価の計画（全6時間）

配当 時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価の観点			備考
		知	思	態	
1～5	1 ■単元の目標を理解し、パフォーマンステスト課題に対する理解を深める<パフォーマンステストの実施内容を説明> ■ある研究結果から食と環境の関係について概要を捉える。 ①導入を行い、「どのくらい肉を食べるのか」についてペアで情報交換をする。 ②新出語句確認する。 ③Key informationの内容を聴解し、ノートテイキングする。 ④パフォーマンステスト課題に活用できそうな事項や表現をまとめる。	は 毎 時 間 行 う。 一 斉 に 記 録 に 残 す 評 価 は 行 わ な い。 た だ し、 ね ら い に 即 し て 生 徒 の 活 動 の 状 況 を 見 届 け て 指 導 に 生 か す こ と			・単元の授業（第4・5時）における言語活動において、評価規準に照らした活動の観察を行う。 ・単元を通じて指導したことがどの程度習熟・育成されたかを評価するために、本単元の最後の授業（第6時）にパフォーマンステストを行うとともに後日定期考査を行う。
	2 ■ある研究結果から食と環境の関係について理解を深める。 ①本文を通読し、概要を捉えると共に、内容・構成を理解する。 ②パフォーマンステスト課題に活用できそうな事項や表現をまとめる。				
	3 ■ある研究結果に対する多様な意見を知る。 ①テーマに関する多様な意見を聴解し、ノートテイキングする。 ②テーマに関する各自インターネットを使用して具体例やデータなどを調べる。 ③パフォーマンステスト課題に活用できそうな事項や表現をまとめる。				
	4 ■聞いたり読んだりしたことをもとに、パフォーマンステスト課題について自分の意見を構築する。 ①1～3校時に学んだことを参考に、自分の意見のアウトラインをつくる。 ②書いたアウトラインをもとにペアで発表し合い、各自の意見や理由についてチェックシートに基づいて感想を述べ合う。これを複数回行う。 ③アドバイスをもとにアウトラインを推敲する。				
	5 ■聞いたり読んだりしたことをもとに、パフォーマンステスト課題について自分の意見を相手に伝えるように論理的に話す。 ①前時で推敲したアウトラインをもとに自身のプレゼンを録音し、文字起こしする。 ②文字起こしをもとに、チェックシートを使って内容や構成、表現を再度推敲し、プレゼンテーションを完成させる。				
6	■聞いたり読んだりしたことを基に、パフォーマンステスト課題について自分の意見を相手に伝えるように論理的に話す。 ①プレゼンテーションの練習、課題提出（Classroomへ） ②ペアで店長と社長の役割を決め、評価を行う。評価者は評価の理由を2文程度で書き、提出する。（Classroomへ）			○ ○	
後日	定期考査	○			

パフォーマンステストについて

(1) 実施計画

領域	<input type="checkbox"/> 話すこと [やり取り] <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと [発表] <input type="checkbox"/> 書くこと
Can-Do	3年 Speaking 「ある事象・意見について、論理的に自分の意見を述べるができる。」
実施内容	<p>(話し手)</p> <p>あなたは、日本で多くの店舗を展開する激安焼肉店の店長です。どの店舗でも業績をアップさせ、社長からの信頼は絶大です。</p> <p>そこで、地球環境に配慮したこれからの焼肉店経営について、社長からアイデアを出すように頼まれました。社長は多忙につき、あなたのアイデアを1分間聞いてくれます。具体的な研究結果やデータを用いて、説得力のあるプレゼンテーションを行ってください。</p> <p>(聞き手)</p> <p>あなたは、日本に多くの店舗を展開する激安焼肉店の敏腕社長です。店長のプレゼンテーションを聞いて、そのアイデアを採用しようと思えたら2点、保留は1点、不採用なら0点で評価してください。また、その理由を2文程度で述べてください(ライティング)。</p>
実施方法	・ペアで役割を分担。発表内容を動画で撮影し提出。その場で役割を交代して、相互に評価する。

(2) 採点基準

○「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」についての3つの条件

条件1 自分の意見を述べている
条件2 具体的な研究結果やデータを引用している。
条件3 聞き手への配慮として、論理構成や展開を工夫し、具体的な解決策を述べている。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
a	/	3つの条件を満たした上で、聞き手に興味をもたせるような情報や、自分の考え等を詳しく話して伝えている。	3つの条件を満たした上で、聞き手に興味を持たせるような情報や自分の考え等を詳しく話して伝えようとしている。
b		3つの条件を満たしている。	3つの条件を満たそうとしている。
c		bを満たしていない。	bを満たしていない。

6 本時について(4/6時間目)

(1) ねらい

聞いたり読んだりしたことをもとに、パフォーマンステスト課題について自分の意見を構築する。

(2) 展開

時間	学習内容	学習活動	指導上の留意事項	評価
7分	ねらいの提示 本単元の振り返り	本時のねらいを理解する。	パフォーマンステストで活用できそうな内容、数字、表現などに意識を向けさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは行う。 </div>
20分	アウトラインを作成する	1～3校時に学んだことを参考に、自分の意見のアウトラインをつくる。 作成後、チェックシートで自己評価を行う。	2～3枚のスライドを作る想定で、プレゼンのアウトラインのみを考えさせるようにする スピーチの目的、チェックシートの項目を確認する	
10分	発表・相互評価	書いたアウトラインを基にペアで発表しあい、各自の意見や理由についてルーブリックに基づいて感想を述べ合う。これを複数回行う。	プレゼンチェックシートを使って相互評価を行う。 ペアで発表・相互評価×2 相互評価により生徒が使える表現を多様にしていく。	
10分	リライト	相互評価を参考にアウトラインを再考する。		
3分	まとめ	次回の確認	時間内で終わらなかった部分は次回授業までに取り組みように指示	